

日本共産党 和歌山市会議員

ひめだ高宏ニュース

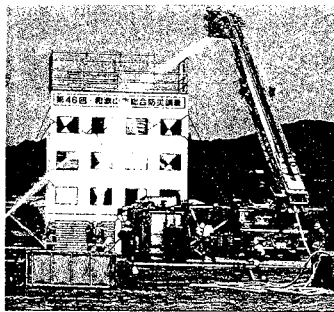
NO.877

11.8.31

和歌山市総合防災訓練見学

8月の終わりとともに台風が近づいて来ています。9月に上陸する台風は大きな被害をもたらすということですが、何も行く行きすぎでほしいものです。28日(日)午前中、紀の川沿いのせせらぎ運動公園で行われた和歌山市総合防災訓練を見学しました。

36団体による避難・救出訓練



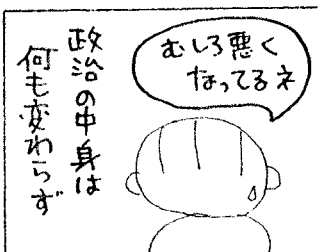
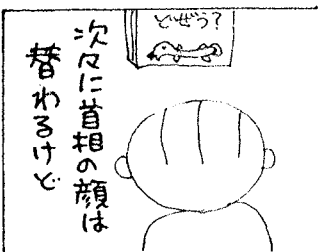
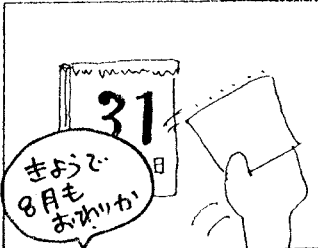
消防局、花王、住金、消防団による大規模火災消火訓練

訓練は、紀伊半島沖を震源とするM8.6の地震発生で和歌山市が震度6の地震となったと想定したもので、市が地域防災計画に基づき「災害対策本部」を設置し、防災関連機関に出動要

7/11の人々



<660>



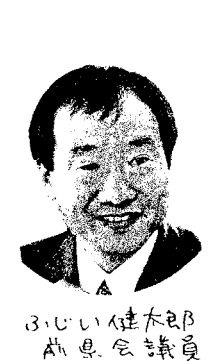
訓練終了後、一帯に見学した市議員に集まり、お話を伺った。

請を行い、住民の避難誘導、負傷者の救出・救護、消火水防活動及びライフライン等の応急復旧を開始。地域住民は自主防災組織を中心とした避難、救出、消火活動を行うというものでした。9時〜12時の間に23項目の訓練が流れるように行われました。ご苦労さまです。県・市・県警・消防・ガス・電気・N・T・T・国交省の展示も見せて、パンフレ

こんにちは
日本共産党の
ふじい 健太郎
です。
(その302)

8月28日、福井原発の見学バスツアーに参加しました。福井原発は発電炉3基、研究用の高速増殖炉1基の合計4基、さらに新増設計画2基、廃炉中が1基と、まさに原発銀座の名にふさわしく原立地県です。

見学したのは、①敦賀市にある日本原子力発電敦賀原発1号機・2号機(いずれも定期検査と事故で停止中、1号機は大阪万博に初送電した国内最老朽炉)、②美浜町の関西電力美浜原発1・2・3号機(いずれも稼働35〜40年の老朽炉、3号



ふじい 健太郎 市議員

機はナトリウム漏れで死亡事故を起こしている、1・3号機は定期検査中)、③敦賀市の日本原子力研究開発機構高速増殖炉もんじゅ(事故で停止中)の3か所。原発施設内の立ち入りは許可されず、PR館での説明と外観の見学でしたが、事故が多いこと、安全対策に追われていることなどを含め勉強になりました。

原発を背景とした白砂青松の海水浴場では多くの家族連れや若者が楽しんでいました。観光地の風景としてはなにか異様なものを感じたのは私だけでしょうか。

ットなどもいただき、詩も一聞かせてもらいました。

市の手話通訳者派遣事業

市が実施している手話通訳者の派遣(該当者は無料で利用できます)は、「和歌山市手話通訳者及び要約筆記者派遣事業実施要綱」に基づき行われています。

派遣を受けることができないのは、①市内に居住する聴覚障害者又は音声・言語機能障害者(聴覚障害者等)②聴覚障害者等を主たる構成員とし、市内を活動

範囲とする団体、③その他市長が特に必要と認める者となっております。

派遣の対象は、①生命及び健康に関すること(家族を含む病院等での診察・検査等、検診・予防接種等)、②権利・義務に関すること(公的機関への申請、届出、交通違反の講習)、③職業に関すること(就職面接、職場での話し合い等)、④

教育に関すること(保育所、幼稚園、小・中・高校の行事、家庭訪問等)、⑤住宅に関すること(住宅入居契約等、建物等の修理等に関する交渉等)、⑥地域生活に関すること(当事者、同一世帯・2親等以内の冠婚葬祭等)、⑦団体活動に関すること(障害者団体の主催行事等)、⑧教養・自己啓発に関すること(行政機関が主催又は後援する講演会等)、⑨その他市長が特

こどもたちは



日本共産党

新しい首相に野田佳彦氏が選ばれました。日本新党から初当選した代議士です。いま、日本は大震災、原発事故といつこ

ない危機的状態から、くらしと経済を立て直す大きな課題に直面しています。それにもかかわらず、今の民主党代表選挙は、原

民主主義議員は「解散・総選挙を先に延ばしてくれ

に必要と認める事となり、あり、営利を目的とした活動、宗教活動、政治活動、団体行事等において市の運

営補助金を受けた活動については、対象外となっております。事業の利用で困っていることがあればひめたま

日中友好協会 和歌山市支部

中秋の集い

日時 9月11日(日) 18時～

場所 片貝波公園
万葉館横の細い道をステージ方面に歩いて3分くらいの芝生で

参加費 1000円(料・お茶代) +500円で紹興酒飲み放題

出し物 ◆太極拳演舞 ◆二胡演奏 ◆詩吟 ◆中国民謡

申し込み { 由井 445-5557
山崎 444-6747
小藪 446-3840

申し込み締切 9月4日(日)

山手・陸前高田市 震災被災者

救援隊報告

今号は「救援活動」の合間で見たことの報告です。訪問活動をした矢作の奥に「清水の湧口」がありました。岩の間から湧き水がドンドン流れ出ています。地元の人々が「飲めるよ」と言っているので飲んでみました。味はないけど冷たい水でした。流水の中には30cmのニジマスが悠々と泳ぎ、梅花藻が

白い花を咲かせていました。下流では、子ども達が泳いでいました。

訪問したお宅の玄関に大きな鹿の角が無造作に置かれていたので、帰り際に「獲ったのですか」と聞いてみると、「裏山に落ちていたので拾った」とのことでした。なんと自然豊かな場所だと感じました。